

委員会の



委員会審査のようす

理者とするものとの説明がありました。

平成26年度一般会計予算案学校教育費中、特色ある教育活動事業について、事業導入の経過について、備品購入、施設整備なども事業採択となっているが、市長の目指す教育再生と学校側の考える交付金の受け止めに温度差を感じ

経済建設委員会

記録的豪雪に大型補正予算

経済建設委員会に付託された議案は、条例案件22件、事件案件2件、予算案件10件の計34件で、慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

条例案件の一部を改正する条例では、3年に1度の見直しと消費税増税に伴う使用料

る。特色ある学校づくりとは何かなどの問いに対し、市長と教育委員との懇談の場で教育委員より、子どもたちが地域に根差しより人間力を高め、ていく教育が重要であるが、従来の総合学習交付金の額では不十分であり、各校長の裁量で配分できる交付金を、との提案があり、事業化を行うこととなったもので、児童生徒の育ちや自立を保证するために、も学校現場が課題に向き合い子どもたちの学びにつなげ、市民にもその姿を見てもらいたいなどの答弁がありました。審査の過程で多くの意見が出され、3点にわたる附帯決議の提案があり、全員一致で可決、本会議に提出しました。

と利用料を改正するものです。市道路線の廃止及び認定については、信州Fパワープロジェクトに伴うもので、4路線を廃止し、新たに3路線を認定するものです。

平成26年度予算中の広丘駅周辺整備事業については、広丘支所建て替えに伴う計画策



雪の重さで押しつぶされたビニールハウス

定業務委託料1千500万円と東口駐車場整備工事7千400万円との説明を受けました。
また、街なみ環境整備事業について、平沢地区整備内容の排水路についての質問に道路下に暗渠（あんきょ）とするとの答弁がありました。
輸送対策事業の地域振興バス運行委託料について、乗車人数と運賃収入の動きに関する質問に、広告料などの収入源も視野に入れるとの答弁がありました。
土木費中の道路維持費の除雪対策事業では、除雪機1台と融雪剤散布機2台を購入し、冬期間の安全確保を図る、との説明を受けました。

統合時には、料金も統一するとの説明を受けました。
2月の豪雪で、農業被害も発生して、ビニールハウスが倒壊し、レタスや水稲の育苗被害が市内各地で発生しました。被害状況は、全壊11棟、畜舎キノコハウス8棟、半壊56棟、小壊10棟、雨除けハウス20棟、計205棟、被害面積2万3千374㎡、被害額251万4千円（2月26日現在）との報告を受けました。
市として、除雪対策事業費や園芸産地基盤強化等促進事業費の予算を補正し、被害に遭われた農家が就農意欲を無くさないように支援していく、と説明を受けました。
当初予算と併せ、総額3億円を超える大型補正予算との説明を受けました。



委員会審査のようす